

平成29年度



いのちの基金 活用報告書

横須賀市健康部

ごあいさつ

このたびは「いのちの基金」にご寄附をいただき、
深く感謝いたします。

「いのちの基金」は、
横須賀を「いのちを大切にすまち」にしたい、という思いから、
平成 24 年度に創設しました。

みなさまのあたたかな想いのこもったご寄附は
様々な事業に活用させていただき、
「いのちを大切にすまち」を実現してまいります。

また、わたしは『誰も一人にさせないまち』を目指しております。
「いのちの基金」は
『誰も一人にさせないまち』を達成するためにも必要です。
今後もみなさまのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、この活用報告書では、
平成 29 年度の「いのちの基金」の積立額や、
活用した事業などについてご紹介しました。
有効に活用させていただきましたので、ご一読いただければ、幸いです。

横須賀市長 上地 克明

「いのちの基金」について

1 目的

「いのちの基金」は、「いのちを大切にする都市 横須賀」の実現を目指して、市民のみなさまといのちの大切さを共有し、いのちを育み、守るための医療を支援する費用に活用することを目的に、平成 24 年度に創設しました。

2 シンボルマーク

「命」という漢字をモチーフに、人が寄り添い、思いやりのハートと、幸福を表す虹を描いたデザインで、市内在住の奥野和夫さんの作品です。



いのちの基金

3 「いのちの基金」を活用する事業

医療環境は、年々変化します。このため、「いのちの基金」を活用する事業は、その時々々の医療ニーズに対応できるよう、また、「いのちの基金」の設立趣旨である「いのちを守り、いのちを育む医療を支援する」という視点から充当事業を検討しています。

平成 29 年度に充当した事業の一部をご紹介します。

看護師確保対策事業

(1) 看護師確保対策事業とは

看護師の養成数は増えてきていますが、神奈川県の人口あたり看護師数は、全国的に見て低い状況が続いています。

横須賀市では市内における看護師不足の解消を図ることを目的に、看護師確保に関する様々な事業を実施しています。

(2) 基金の活用事業内容

看護師離職防止研修	3回
看護職のための合同就職・進学説明会	2回
看護職のためのキャリアカウンセリング	18回
男性看護師支援	3回
潜在看護師復職支援研修	5回



不育症治療費助成事業

(1) 不育症とは

不育症は、妊娠をしても、流産・死産などを繰り返して、結果的に子どもを授かることができない症状です。

原因はさまざまですが、治療によって 85%の不育症患者が出産にたどりついていることがわかっています。

しかし、検査や治療には、健康保険が適用されないものが多く、高額な医療費がかかります。

子どもを望むご夫婦の経済的な負担を少しでも軽くし、あたらしい「いのち」を授かることができるよう、横須賀市では平成 24 年度から、不育症治療費の助成事業を開始しました。

(2) 基金の活用実績

助成した件数	11 件
--------	------

特定不妊治療費助成事業

(1) 特定不妊治療とは

近年、結婚年齢や出産年齢の上昇に伴い、体外受精をはじめとする不妊治療は年々増加しています。

以前は、不妊症は女性の病気と考えられていましたが、現在は、男性不妊の割合も約 48%あり、男性不妊治療の推進も重要となっています。

不妊治療のうち、体外受精や顕微授精による治療を特定不妊治療と言います。特定不妊治療は、1回の治療費が高額で保険適用外のため、その経済的負担が重いことから、平成 16 年度から女性の治療費に要する費用の一部を助成していますが、平成 28 年度からは新設された男性特定不妊治療費助成制度にいのちの基金を活用しています。

(2) 基金の活用実績

助成した件数	3 件
--------	-----

「いのちの基金」の積立額

1 平成29年度積立総額 9,312,887円 (a)

－内訳－

いのちの基金へ直接いただいた寄附金	13件	630,000円 (ア)
17か所の募金箱にいただいた寄附金		48,587円 (イ)
ふるさと納税としていただいた寄付金	66件	3,947,000円 (ウ)
その他寄附金		30,000円 (エ)

① 寄附金の合計 (ア) + (イ) + (ウ) + (エ) 4,655,587円

⇕ 同額

② 市の予算からの積立て 4,655,587円

③ 基金の運用利子 1,713円

①+②+③ 9,312,887円

2 活用した額 6,520,935円 (b)

3 積立てた額 (a - b) 2,791,952円

4 現在の基金残高 21,823,626円

平成29年度末の基金残高は、昨年度末の残高 19,031,674円を加えて、21,823,626円となりました。

いのちの基金は、将来の新たな医療ニーズに応えることができるよう、集められた寄附を全て使い切ってしまうのではなく、一部を積み立てることで、現在の医療を支援しつつ、将来の医療も支援できる基金にしています。

平成29年度のご寄附者 一覧

団体

国際ソロプチミスト横須賀 様
横須賀三曲会 様
横須賀商工会議所女性会 様

個人

大矢 常美 様
川戸 利男 様

※ご寄附の際に、公表を希望しないとお申し出があった方は掲載しておりませんが、他3名の方からご寄附をいただきました。

※また、ふるさと納税として66件、市内の公共施設等に設置の募金箱にも多くのご寄附をいただきました。



ご協力ありがとうございました。

「いのちの基金」は、今後も、いのちを育み、守るための医療を支援する事業に活用していきます。引き続き、ご協力をお願いします。

平成30年12月

横須賀市健康部 地域医療推進課 地域医療政策係

住 所 〒238-0046 横須賀市西逸見町1-38-11

ウェルシティ市民プラザ3F

電 話 046-822-4751

メール ga-hm@city.yokosuka.kanagawa.jp